

授業科目	文化人類学	分野	基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	<p>現代社会の諸問題に対してどれだけ迫ることができるか、また、どのような実践的な課題を見いだせるかという点から、議論したいと考えています。そこから、講義で扱うテーマを含む様々な社会の問題に対する情報を受け止める力、理解する力を獲得することが到達目標です。 特に重視したいのが、看護師の仕事にとって、文化を考えていくことがどのように役立つかです。近年、話題となっているメディア、生命、少子化、環境、多文化共生などのテーマについて1つ1つ丁寧に考えていきたいと思っています。</p>								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	文化概念	文化人類学に何ができるか			講義	非常勤講師			
2	コミュニケーション理論	コミュニケーションの文化			講義				
3	消費文化論	消費と文化			講義				
4	メディア文化論	メディアと文化			講義				
5	環境文化	環境の文化と生命			講義				
6	家族と文化	家族・人間関係の文化をめぐる問題			講義				
7	行動アプローチ	人びとの行動を変える文化的実践			講義				
8	身体・生命の文化	身体・生命の文化を考える			講義				
9	地域文化	地域の文化的多様性			講義				
10	文化人類学方法論	文化人類学のフィールドワーク			講義				
11	多文化社会論	日本で暮らす外国人について			講義				
12	共生論	外国人との共生を考える			講義				
13	コミュニティと地域文化	「多文化共生」:地域での実践から			講義				
14	文化人類学理論	現代社会と文化の問題:文化人類学の可能性			講義				
15	まとめ・テスト								

授業科目	カウンセリング	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	看護場面において、心の援助を行うために必要なカウンセリング理論や技法などを理解し、看護現場で活かせるようにする。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	カウンセリングとは	カウンセリングの理論と看護カウンセリングについて			講義 グループワーク	非常勤講師			
2	カウンセリングの基本姿勢	カウンセリングの基本的態度			講義 グループワーク				
3	カウンセリングの技法①	言語的援助の技法			講義 グループワーク				
4	カウンセリングの技法②	言語的援助の技法			講義 グループワーク				
5	カウンセリングの技法③	非言語的援助の技法			講義 グループワーク				
6	カウンセリング的姿勢	ロールプレイ等を通してカウンセリング的姿勢を学ぶ			講義 グループワーク				
7	心理査定	よく使われる心理検査について			講義 グループワーク				
8	心理療法①	認知行動療法・クライアント中心療法			講義 グループワーク				
9	心理療法②	フォーカシング・箱庭療法・遊戯療法			講義 グループワーク				
10	看護カウンセリングの実際	事例から学ぶ			講義 グループワーク				
11	自己理解と他者理解	交流分析など			講義 グループワーク				
12	自己理解と他者理解	コラージュなど			講義 グループワーク				
13	自己理解と他者理解	風景構成法など			講義 グループワーク				
14	これからのカウンセリング	カウンセリングを看護現場でどう活かすか			講義 グループワーク				
15	まとめ（30分） 定期試験（60分）	カウンセリングのまとめ 定期試験			講義 定期試験				

授業科目	解剖学 I	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体が各組織・器官系統より、どのように構成されているか。また、正常な構造を形態的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	人体の構造の なりたち	解剖学用語、人体の外形と部位 からだの方向用語、体部の名称			講義	非常勤講師			
2	細胞と組織 1	上皮組織、支持組織（結合、軟骨、骨組織）、腺の構造と分泌 様式			講義				
3	細胞と組織 2	筋組織、神経組織、細胞の構造と 細胞小器官のはたらき			講義				
4	骨系統総論	骨のマイクロ構造、発生と成長、関節の構造と種類、リモデリン グ			講義				
5	骨系統各論 1	脊柱を構成する骨と連結、胸郭を構成する骨、頭蓋骨			講義				
6	骨系統各論 2	上肢と下肢の骨格、骨盤の性差、 足のアーチ構造			講義				
7	筋系統総論	筋組織構造、筋の形態、腱と筋膜、 筋の付属器、筋の起始と停止			講義				
8	筋系統各論 1	作用、拮抗筋と協力筋、神経支配、運動単位			講義				
9	筋系統各論 2	頭頸部、背部、胸部、腹部の筋、 上肢、下肢の筋			講義				
10	消化器系統 1	口腔、歯、口蓋、舌、唾液腺、 扁桃、咽頭			講義				
11	消化器系統 2	食道、胃、小腸（十二指腸、空腸、回腸）、大腸（盲腸、結 腸、直腸）			講義				
12	消化器系統 3	肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜、胃間膜 腹部断面、縦断像			講義				
13	循環器系統 1	動脈系、静脈系、リンパ管系、 リンパ性器官、リンパ節			講義				
14	循環器系統 2	心臓の構造、特殊な血管系、体循環と肺循環、全身の血管			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	解剖学Ⅱ	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体が各組織・器官系統より、どのように構成されているか。また、正常な構造を形態的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	呼吸器系統 1	外鼻、鼻腔（副鼻腔、鼻粘膜と嗅器）、腺、漿膜			講義	非常勤講師			
2	呼吸器系統 2	咽頭、喉頭、気管と気管支、肺、胸膜、縦隔			講義				
3	内分泌系統	甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、消化器、生殖、その他のホルモン			講義				
4	泌尿器系統	腎臓、尿管、膀胱、尿道、排尿にかかわる筋と神経			講義				
5	生殖器系統：男性	精巣と精巣上体、精管と精索、陰茎、付属生殖腺、精子			講義				
6	生殖器系統：女性	卵巣、卵管、子宮、膣、外陰部、乳腺、胎盤、臍帯			講義				
7	発生	受精と着床、胚子と胎児、胚葉と組織			講義				
8	神経系統総論	シナプス、神経伝達物質、変性と再生、自律神経系			講義				
9	中枢神経系	中脳、橋、延髄、間脳（視床、視床下部）大脳皮質、基底核、辺縁系			講義				
10	中枢神経系	髄膜、脳室と髄液、脳の動静脈、求心性伝導路、遠心性伝導路			講義				
11	中枢神経系	小脳、脊髄の構造、脳神経			講義				
12	感覚器系統 1	視覚器；角膜、強膜、脈絡膜、毛様体、虹彩、網膜、水晶体、レンズ			講義				
13	感覚器系統 2	聴覚器と平衡覚器、蝸牛、卵形嚢と球形嚢、三半規管、嗅覚器と味覚器			講義				
14	皮膚	表皮、真皮、皮下組織、爪、毛、腺 熱傷、9の法則、感覚器			講義				
15	定期試験（90分）				講義				

授業科目	生理学 I	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の生理機能を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	細胞の機能	エネルギーの変換とATP, 核酸からタンパク質の合成、細胞膜の機能			講義	非常勤講師			
2	細胞の機能と消化	体液とホメオスタシス、口腔、食道、胃、膵液、胆汁、腸液の働き			講義				
3	消化と吸収	消化管の自律神経支配、小腸の運動、小腸の吸収、大腸、肝臓			講義				
4	呼吸	内呼吸と外呼吸、呼吸運動、肺胞の機能、肺気量			講義				
5	呼吸	一秒率と%肺活量、ガス交換とガスの運搬			講義				
6	呼吸	呼吸中枢、呼吸の調節、呼吸の調節異常、異常呼吸			講義				
7	血液	血液の働き、血液成分、血球の種類、赤血球の機能			講義				
8	血液	白血球の機能、非特異的生体防御機構と特異的生体防御機構(免疫)			講義				
9	血液	血漿タンパク質、血液の凝固と線溶、HLAとは、血小板の機能			講義				
10	血液	ABO式とRh式血液型、輸血			講義				
11	心臓	体循環と肺循環、心筋、刺激伝導系、心電図波形の意味			講義				
12	心臓	心電図の記録と計測、心拍数と電気軸の求め方			講義と測定				
13	心臓	異常心電図波形、血圧測定、心周期、心拍出量			講義と測定				
14	心臓	心内圧と心音、心臓反射、血管の調節			講義				
15	定期試験 (90分)								

授業科目	生理学Ⅱ	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の生理機能を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	腎臓	濾過と再吸収、浮腫、腎臓の機能、腎小体と糸球体				講義	非常勤講師		
2	腎臓	尿細管の機能、腎機能検査、排尿、尿				講義			
3	体液の調節	脱水と電解質、PHと酸塩基平衡障害				講義			
4	自律神経	自律神経の機能、自律神経の伝達物質				講義			
5	内分泌	内分泌腺とホルモン、ホルモンの構造と作用				講義			
6	内分泌	ホルモン調節、視床下部ホルモンの作用、下垂体前葉ホルモン				講義			
7	内分泌	甲状腺、上皮小体、膵臓、副腎ホルモンの作用と疾患、				講義			
8	内分泌と生殖	性ホルモン、性の決定と分化、性周期と妊娠				講義			
9	骨格筋と神経	骨格筋の筋収縮機構、筋収縮の種類、ニューロン、神経の興奮と伝導、シナプス、脊髄反射				講義			
10	神経	脳幹の機能、間脳の機能、大脳の機能、脳神経の働き				講義			
11	神経	脳波睡眠と脳波、脳死と植物状態、脊髄伝導路				講義			
12	感覚	体性感覚、視細胞、視覚の伝導経路、色覚とその異常				講義			
13	感覚	聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚				講義			
14	疼痛と体温	疼痛、体温、老化現象				講義			
15	定期試験（90分）								

授業科目	生化学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	<p>人体の構成成分である化学物質の性状、その分布及び代謝を理解する。【私達の身体は数多くの物質から成り立っており、それらがひとつとして無駄もなく代謝（合成と分解）を繰り返して生命活動を維持している。さまざまな疾患はその代謝活動に何らかの支障をきたした結果、引き起こされるものであり、その前提となる正常な代謝を理解する必要がある。この講義は、人体における代謝を化学的、栄養学的視点から捉え、各種疾患の診断、治療に欠かせない基礎医学の知識を習得させることを目標にする。】</p>								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	生体の仕組みと生体内代謝の概要	細胞の基本構造、核およびミトコンドリアをはじめとする細胞内小器官の役割			講義	非常勤講師			
2	糖質の種類	糖質の分類および役割			講義				
3	糖質代謝	糖質の消化吸収、細胞内における糖質代謝経路（解糖系、クエン酸回路と電子伝達系、糖新生）			講義				
4	脂質の種類	脂質の種類、構造および役割			講義				
5	脂質代謝	リポタンパク質の役割、中性脂肪の消化吸収、脂肪酸分解反応（ β -酸化）、脂肪酸合成反応			講義				
6	アミノ酸の種類 タンパク質の構造	アミノ酸の構造と分類、両性電解質の特性、タンパク質の基本構造（一次～四次構造）			講義				
7	タンパク質、アミノ酸代謝	タンパク質の性質および役割、タンパク質の消化吸収、アミノ酸代謝			講義				
8	前半のまとめ	三大栄養素の代謝について			講義				
9	酵素総論	酵素の働きや特性、酵素と補酵素及び補因子の関係、酵素アイソザイム			講義				
10	酵素各論	各種酵素の臨床的意義			講義				
11	ビタミン	各種ビタミンの分類と役割、各種ビタミン欠乏症			講義				
12	核酸	核酸の構造と役割、遺伝情報からのタンパク質の合成、核酸代謝			講義				
13	無機質	体内における無機質の役割、酸塩基平衡			講義				
14	ホルモン	各種ホルモンの構造、分泌部位、主な作用 各種ホルモンの分泌不全と過剰症			講義				
15	定期試験（90分）	まとめ			試験				

授業科目	生活行動と形態機能	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	後期	
科目目標	人間が生きていくための生活行動のメカニズムが理解できる。									
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）			
1	生きるための身体のしくみ①	物質の流通のための身体のしくみ 息をするための身体のしくみ				講義 演習	本校教員			
2										
3										
4	生活するための身体のしくみ	動くための身体のしくみ				講義 演習				
5		眠る・休息するための身体のしくみ								
6										
7		コミュニケーションをとるための身体のしくみ								
8		食べるための身体のしくみ								
9										
10		トイレに行くための身体のしくみ								
11		きれいになるための身体のしくみ								
12										
13	生きるための身体のしくみ②	恒常性を維持するための身体のしくみ				講義				
14	子どもを産むための身体のしくみ	男性と女性 性交と受精 出産				講義				本校教員
15	定期試験					定期試験				本校教員

授業科目	微生物学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	微生物の特徴、生体に及ぼす影響とその対応を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	細菌の性質1	細菌の形態と特徴			講義	非常勤講師			
2	細菌の性質2	細菌の遺伝、分類、常在細菌叢			講義				
3	真菌、寄生虫、ウイルスの性質	真菌、寄生虫、ウイルスの形態と特徴			講義				
4	感染に関する生体防御機構1	自然免疫			講義				
5	感染に関する生体防御機構2	獲得免疫			講義				
6	感染と感染症	感染の成立から発症・治癒まで、感染症の現状と問題点、感染症対策			講義				
7	感染症の予防	滅菌と消毒、標準予防策			講義				
8	感染症の治療	化学療法の基礎、各種化学療法薬			講義				
9	細菌感染症1	グラム陽性菌			講義				
10	細菌感染症2	グラム陰性菌			講義				
11	細菌感染症3	抗酸菌、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ			講義				
12	真菌感染症	カンジダ属、アスペルギルス属、クリプトコッカス属			講義				
13	ウイルス感染症1	呼吸器感染症、消化器感染症、性感染症、日和見感染症の原因ウイルス			講義				
14	ウイルス感染症2	急性発疹性または発熱性感染の原因ウイルス、肝炎ウイルス、血液を介して感染するウイルス			講義				
15	定期試験（90分）	定期試験			試験				